

ながのご縁を **縁** 信都・長野市

## 新たな長野市の構築に向けて

～東日本台風災害から1年～

朝晩の薄暗い時間が徐々に延び始め、秋の深まりとともに、いよいよ冬の訪れを感じるようになりました。

市内でもイベントが再開されていますが、人数制限や参加する際の対策など、新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮されたものとなり、いつもの芸術の秋、スポーツの秋、行楽の秋のにぎわいとはやや趣の異なった秋となっています。

昨年10月、本市では忘れることのできない大災害に直面し、この1年の間、私たち議会も復旧・復興に向けて全精力を注いできました。まだ完全復旧には至っていませんが、被災した果樹園のりんごが新たな実をつけ、収穫の声を聞くと、生命の力はすばらしいと感じます。私たち議会も市の情勢をしっかりと捉え、大きな実を育てていきたいと考えています。

# ながの だより 市議会

令和2年  
9月定例会  
8月臨時会  
NO.112

### ■主な内容

- ◆8月臨時会の審議内容……………2
- ◆9月定例会審議内容、新しい議会構成①…3～4
- ◆市政に関する質問の要旨…5～9
- ◆常任・特別委員会のうごき…10～11
- ◆新しい議会構成②……………裏表紙



復興祈念事業のシンボルマークの折り鶴が入った「復幸りんご」

復興祈念事業の記念品として配られる「復幸りんご」。長沼地区津野のりんご園で、高校生ボランティアらが収穫に向けて準備した（9月19日撮影）



11月の  
ホームゲーム

【ことぶきアリーナ千曲】  
シーホース三河戦11/8(日)14時5分、シーホース三河戦11/9(月)19時5分

「本誌は再生紙を使用しています」

## 市議会臨時会

8月7日 開催

8月市議会臨時会が8月7日の一日間の会期で開かれ、令和2年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました（4頁参照）。補正予算の概要について紹介します。

### 補正予算の内容

8月臨時会では、6月専決補正予算として、歳入歳出それぞれに二億一億三千九十二万六千円を追加し、さらに、8月補正予算として、歳入歳出それぞれに五十七億三千五百五十五万円を追加しました。これにより、一般会計予算総額は二千二百二十六億七千六百六十四万一千円となりました。

主な内容は次のとおりです。

#### 6月専決補正予算 旅行会社送客事業等支援金

旅行会社が実施する本市への誘客活動に対する支援及び市内に本店を有する旅行代理店が実施する感染予防対策への支援に要する経費が追加されました。（二億一、二四〇万円）

#### 6月専決補正予算

#### ひとり親世帯の支援に要する経費

低所得のひとり親世帯に国が支給

する「ひとり親世帯臨時特別給付金」の支給及び市独自事業として児童扶養手当受給者への上乗せ支給に要する経費が追加されました。（五億七千八百七十七円）

#### 6月専決補正予算

#### 避難所や公共施設での感染症予防対策に要する経費

指定避難所での感染予防対策及び車で一時的に避難できる指定緊急避難場所に滞在できる環境を整備するとともに、公共施設での感染予防対策の充実に要する経費が追加されました。（二億五、三〇〇万五千円）

#### 6月専決補正予算

#### ウィズコロナ事業者応援プロジェクトに要する経費

各種団体や個別事業者等が実施する感染予防対策に対する支援及び新たな生活様式に移行するための取り組み等に対する支援に要する経費が追加されました。（二億三、〇〇〇万円）

#### 8月補正予算

#### 南長野運動公園体育館の空調設備整備に要する経費

新しい生活様式を踏まえた利用者の安全、安心確保や、災害時の避難所としての機能を強化するため、南長野運動公園体育館の換気空調設備の整備に要する経費が追加されました。（一億三、五〇〇万円）

#### 8月補正予算

#### 教育ネットワークに要する経費

学校の臨時休校時における家庭と学校の双方向オンライン授業に備えるため、学校とデータセンター間のネットワーク回線の強化に要する経費が追加されました。（六、五六八万円）

#### 8月補正予算

#### 市役所窓口でのキャッシュレス決済導入に要する経費

利用者へのサービス向上を図るとともに、新しい生活様式に対応するため、市役所窓口での証明発行手数料、施設利用料、市税及び各種保険料の支払いに係るキャッシュレス決済の導入に要する経費が追加されました。（三、一六八万一千円）

#### 8月補正予算

#### ながのビッグプレミアム商品券の発行に要する経費

市内の店舗・事業所で利用できる



発行総額48億円で過去最大規模のプレミアム付き商品券。購入金額の50%をプレミアム分として上乗せし、市内経済の活性化が期待される（購入申し込みは10月30日終了）

過去最大規模のプレミアム付き商品券の発行に要する経費が追加されました。（四九億九、一〇〇万円）

#### 8月補正予算

#### 制度融資保証料交付金

事業の継続に支障が生じている中小企業者への融資にあたって付される信用保証協会の保証に対する交付金が追加されました。（三億九、九六七万七千円）

#### 8月補正予算

#### 災害弔慰金

令和元年東日本台風において、災害関連死と認定された遺族への災害弔慰金の支給に要する経費が追加されました。（二、〇〇〇万円）

# 感染症対策中心に57億3千万円余を補正

市民生活・経済の本格的回復に向けて

# 市議会定例会

会期  
9月3日  
9月30日

9月市議会定例会が9月3日から30日までの二十八日間の会期で開かれ、令和2年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました（4頁参照）。補正予算など主な議案の概要について紹介します。

## 補正予算の内容

9月定例会で決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに十三億七千七十八千円を追加し、一般会計予算総額は二千二百四十億四千七百三十四万九千円となりました。主な内容は次のとおりです。

### 新型コロナウイルスに係るPCR検査関連に要する経費

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、PCR検査センターの運営継続のほか、保健所のPCR検査機器の増設及び新たななかかりつけ医でのPCR検査委託等に要する経費が追加されました。

（八、一三万五千円）

### 戸籍住民基本台帳システムの改修に要する経費

住民基本台帳法、戸籍法等の一部

改正に伴う戸籍住民基本台帳システムの改修に要する経費が追加されました。

（一、六一万七千円）

### 災害復旧に要する経費

7月の集中豪雨等により被災した道路施設、河川施設、廃棄物最終処分場の復旧に要する経費が追加されました。

（一〇億七、七八〇万六千円）

### 文化芸術活動の支援に要する経費

6月専決補正予算にて実施した、文化芸術活動を支援するWEBフェス事業について、募集数の追加及び長野市芸術館に加え松代文化ホールでの開催に要する経費が追加されました。

（一、六六〇万円）

### 民生関係に係る経費

新型コロナウイルス感染症により、生産活動に大きな影響を受けた授産施設の事業継続経費に対する補助金、

子育て短期支援事業を新たに実施する事業者の開設準備経費に対する補助金、令和元年東日本台風災害により被害を受けた介護事業所の再開準備経費に対する補助金がそれぞれ追加されました。

（八、一〇二万円）

## 主な議案の内容

### 長野市七瀬移住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

長野市七瀬移住促進住宅の利用拡大を図るため、入居することができず者の要件を見直すことに伴い改正されました。

### 長野市食品衛生法施行条例の一部改正

食品衛生法等の一部が改正され、公衆衛生上講ずべき措置の基準に関する規定が整備されたこと等に伴い改正されました。

### 高規格救急自動車等の購入

更北分署及び鬼無里分署にそれぞれ配置する高規格救急自動車二台、高度救命処置用資機材二式、若穂分署に配備する災害対応特殊消防ポンプ自動車、中央消防署に配備する特殊作業車等の購入を議決しました。

## 新しい議会構成①

9月市議会定例会で決定した副議長委員会構成は次のとおりです。

※常任委員会の構成は裏表紙に議員の顔写真とともに紹介しています。◎委員長、○副委員長、他の委員の記載順は、座席番号の順による。

議長 小泉 栄止  
副議長 西沢 利一

### 議会運営委員会

- ◎市川 和彦 ○北澤 哲也 鈴木 洋一
- 松木 茂盛 竹内 茂 黒沢 清一
- 近藤 満里 金沢 敦志 宮崎 治夫
- 小林 義直

### 特別委員会

- 災害対策等調査研究特別委員会
- ◎野々村博美 ○手塚 秀樹 金沢 敦志
- 佐藤久美子 西脇かおる 東方みゆき
- 青木 敏明 三井 経光 勝山 秀夫
- 布目裕喜雄

### 小・中学校の在り方調査研究特別委員会

- ◎寺沢さゆり ○黒沢 清一 倉野 立人
- 鎌倉 希旭 小林 秀子 市川 和彦
- グレート無茶 堀内 伸悟 宮崎 治夫

### まちづくり・公共交通対策調査研究特別委員会

- ◎小林 義直 ○近藤 満里 桜井 篤
- 阿部 孝二 箱山 正一 小林 史子
- 若林 祥 塩入 学 滝沢 真一

### 農林業振興対策特別委員会

- ◎松木 茂盛 ○北澤 哲也 和田 一成
- 小泉 一真 松井 英雄 松田 光平
- 鈴木 洋一 竹内 茂 加藤 英夫

### 議会報編集委員会

- ◎金沢 敦志 ○鎌倉 希旭 堀内 伸悟
- 倉野 立人 青木 敏明 阿部 孝二
- 和田 一成 グレート無茶

# 8月臨時会 審議結果一覧

※○=賛成×=反対  
※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

件名	会派別賛否					議決の状況	件名	会派別賛否					議決の状況								
	新友会	共産党	改革ネット	公明党	無所属A			無所属B	無所属C	新友会	共産党	改革ネット		公明党	無所属A	無所属B	無所属C				
市長提出議案等(18件)	第71号 令和2年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	×	可決	市長提出議案等	報告	報告月日 8月7日	第27号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第72号 令和2年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	可決				第28号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第73号 令和2年度下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	可決				第29号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	第7号 専決処分の報告承認を求めること(令和2年度一般会計補正予算)	○	×	○	○	○	○	○				承認	第30号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第8号 専決処分の報告承認を求めること(職員の特殊勤務手当に関する条例及び消防職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例)	○	×	○	○	○	○	○				承認	第31号 地方独立行政法人長野市民病院の経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	○	報告月日 8月7日
	第23号 専決処分の報告(支払遅延による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○				報告月日 8月7日	第32号 公益財団法人ながの観光コンベンションビューローの経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	○	報告月日 8月7日
第24号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○	報告月日 8月7日				第33号 株式会社エムウェブの経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	○	報告月日 8月7日	
第25号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○	報告月日 8月7日				第34号 一般財団法人長野市文化芸術振興財団の経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	○	報告月日 8月7日	
第26号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○	報告月日 8月7日				第35号 公益財団法人長野市スポーツ協会の経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	○	報告月日 8月7日	

# 9月定例会 審議結果一覧

※○=賛成×=反対  
※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

件名	会派別賛否					議決の状況	件名	会派別賛否					議決の状況						
	新友会	共産党	改革ネット	公明党	無所属A			無所属B	無所属C	新友会	共産党	改革ネット		公明党	無所属A	無所属B	無所属C		
市長提出議案等(30件)	第74号 令和2年度一般会計補正予算	○	×	○	○	○	○	可決	正提出議案等	報告	報告月日 9月3日	第40号 健全化判断比率の報告	○	○	○	○	○	○	可決
	第75号 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	可決				第41号 資金不足比率の報告	○	○	○	○	○	○	可決
	第76号 令和2年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	可決				第42号 専決処分の報告(施設管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	可決
	第77号 市税以外の諸収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決				第6号 決算特別委員会の設置並びに議案第90号から議案第92号まで並びに認定第1号及び認定第2号の付託	○	○	○	○	○	○	可決
	第78号 七瀬移住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決				第7号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	可決
	第79号 食品衛生法施行条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決				第8号 免税軽油制度の継続を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	可決
	第80号 訴訟の提起(市営住宅の明渡し及び滞納家賃等支払請求)	○	○	○	○	○	○	可決				第9号 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	可決
	第81号 財産の取得(5t級除雪ドーザ)	○	○	○	○	○	○	可決				第10号 新しい時代を見据えた教育環境整備を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	可決
	第82号 財産の取得(8t級除雪ドーザ)	○	○	○	○	○	○	可決				第11号 へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すことを求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	可決
	第83号 財産の取得(消防団活動服)	○	○	○	○	○	○	可決				第12号 特別委員会の廃止	○	○	○	○	○	○	可決
	第84号 財産の取得(高規格救急自動車)	○	○	○	○	○	○	可決				第13号 特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	可決
	第85号 財産の取得(高度救命処置用資機材)	○	○	○	○	○	○	可決				第14号 長野広域連合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	当選
	第86号 財産の取得(災害対応特殊消防ポンプ自動車)	○	○	○	○	○	○	可決				第15号 千曲衛生施設組合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	当選
	第87号 財産の取得(特殊作業車)	○	○	○	○	○	○	可決				第16号 須高行政事務組合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	当選
	第88号 土地の売払い(オリンピック記念アリーナ用地)	○	○	○	○	○	○	可決				第17号 須高行政事務組合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	当選
	第89号 市道路線の認定、変更及び廃止	○	○	○	○	○	○	可決				第17号 中継統調査申出	○	○	○	○	○	○	可決
	第90号 令和元年度産業団地事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	可決				第18号 副議長辞職	○	○	○	○	○	○	許可
	第91号 令和元年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	可決				第19号 副議長選挙	○	○	○	○	○	○	当選
	第92号 令和元年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	可決				第7号 後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の請願	×	○	×	○	○	○	不採択
	第93号 監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	同意	第8号 長野赤十字病院の新病院建設に関する請願	○	○	○	○	○	○	採択			
認定(2件)	第1号 令和元年度一般会計、各特別会計決算の認定	○	×	○	○	○	○	認定	第9号 免税軽油制度の継続を求める請願書	○	○	○	○	○	○	採択			
認定(2件)	第2号 令和元年度各公営企業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	認定	第10号 「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書	○	○	○	○	○	○	採択			
諮問(1件)	第2号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	同意	第11号 「ゆきとどいた教育」の前進を求める請願	×	○	×	○	○	○	不採択			
報告(7件)	第36号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	報告月日 9月3日	第12号 「教育費無償化」の前進を求める請願	×	○	×	○	○	○	不採択			
	第37号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	報告月日 9月3日	第13号 地域高校の存続と30人規模学級を求める請願	×	○	×	○	○	○	不採択			
	第38号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	報告月日 9月3日	第14号 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書	○	○	○	○	○	○	採択			
	第39号 専決処分の報告(施設管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	報告月日 9月3日	第15号 「種苗法の一部を改正する法律案」の慎重審議を求める請願	×	○	×	○	○	○	不採択			
	陳情(1件)	第3号 地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	報告月日 9月3日										

会派名等	議員数	所属議員名																			
新友会	19	三井 経光	小林 義直	小泉 栄正	宮崎 治夫	西沢 利一	若林 祥	手塚 秀樹	寺沢 さゆり	松田 光平	市川 和彦	北澤 哲也	金沢 敦志	和田 一成	松井 椋	青木 敏明	加藤 英夫	グレート無茶	箱山 正一	脇かおる	
共産党	6	野々村博美	阿部 孝二	佐藤久美子	黒沢 清一	竹内 茂	滝沢 真一														
改革ネット	6	松木 茂盛	堀入 学	布目裕喜雄	鈴木 洋一	鎌倉 希旭	東方みゆき														

# 質問の要旨

9月定例会本会議では二十三人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介します。

なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。

## 個人質問

新友会 手塚 秀樹

**問** 新型コロナウイルス感染症の今後の検査体制は

**保健所長** PCR検査センターの運営を年度末まで延長するよう調整中。保健所への検査機器の追加導入や一



感染症早期発見のため運営が継続されるPCR検査センター

**問** 本市の厳しい財政状況下での、今後の市政運営は

**市長** 新型コロナウイルス感染症等の影響から、特に市税の大幅減収が想定され、これまで以上に厳しい行財政運営となる。事業の選択と集中、市政運営の効率化やスリム化を進めながら、災害からの復興や地域経済の活力を取り戻す施策など、必要な事業にはしっかりと対応する。

**問** 生きる力を育むための、子どもたちの新しい学びをどう考えるか

**教育長** 一人ひとりの学習状況に応じて個別最適化された学びと、直接顔を向かい合わせながら、集団の中で多様な人々と心を通わせ、人間性を深め、高めていく学びをバランスよく組み合わせることが、これからの学校に求められると考える。

## 改革ネット 布目裕喜雄

**問** 災害態様によって異なる避難所をいかに充足させるのか。地域ごとの避難所充足のシミュレーションは

**危機管理防災監** 避難所は、地域ごと、災害の種類ごとに決まっていな

い。避難対象地域の外にしか避難所を開設できない場合もある。様々な状況をシミュレートし、開設する避難所の選定を含めた訓練を実施する。

**問** 世田谷区のようなプール方式検査の導入等により、エッセンシャルワーカーを対象に、PCR検査の一斉実施・定期的実施を求めるが

**保健所長** 検査の実施が必ずしも安全の確保にはつながらない。国からの要請等を踏まえ、適切に対応する。プール方式は国や大学のレベルで妥当性等が検証されるべき。

**※PCR検査のいわゆるプール方式：**  
例えば四〜五人分の検体を一つに混ぜて検査し、陰性の場合には全員陰性、陽性の場合には改めて個別に検査する方式。大量検査や試薬削減等が見込めるが、検査結果の信頼性を国等で確認したものではない。  
**※エッセンシャルワーカー：**医療・介護・福祉、農業、小売・販売、交通物流、行政など、社会生活を営む上で必要不可欠な仕事に従事している人たちのこと。

**問** 公契約等基本条例案の実効性を高めるため、賃金下限額の設定などステップアップさせる考えは

**市長** 現時点では、いわゆる賃金型条例へのステップアップは想定していない。今後、課題が生じた場合には、見直しを検討することもある。

## 共産党 阿部 孝二

**問** 日本も世界各国もGDPがリーマンショックを超える戦後最悪の下降を記録し、経済対策として二十カ国以上で付加価値税を減税した。消費税一〇％で市民は年間七百六十億円を負担している。五％への引き下げを求めるべきではないか

**市長** 特別定額給付金事業をはじめ、過去最大の経済対策を実施。消費税は充実した社会保障の財源として、世界でも数少ない税金。減税により将来世代に負担を先送りすべきでない。国で税体系全体の検討が必要。

**問** 公契約条例は理念型と賃金型があり、長野市は理念型を制定予定。野田市は賃金型で、公共工事設計労務単価を基に下請け業者に八五％以下の単価を禁止。本市は下請け業者単価をどのように保障していくのか

**財政部長** 条例案は賃金下限額を直接的に保障するものではない。しかし、賃金を含めた労働環境は、検討委員会でも重要な事項として議論され、労働環境報告書や労働者からの申し出制度、下請けの適正化など、新たな仕組みを条例に盛り込んだ。



来春開通予定の北部幹線が接続する古里小学校前交差点

公明党 勝山 秀夫

**問** 来春、現在事業中の北部幹線が供用を開始する。県道と北部幹線が交差する古里小学校前の交差点は、児童の安全面で課題がある。待機スペースの確保や巻き込みポールの増設など、万全な対策が不可欠では

**副市長** 待機スペースの確保は学校関係者と協議中。巻き込みポールの増設は、学校や警察と協議、調整して、しっかりと実施したい。

無所属 倉野立人

**問** 知的障がい者の就労について、

目標値を定めて具体的に雇用することが大事。取り組みはどうか

**保健福祉部長** 具体的な指標を定めていないので、研究していきたい。

**問** コロナ禍における社会経済再興のため公共事業を推進すべき

**市長** 公共事業が市内経済の活力となるよう工事等の発注に努めていく。

新友会 金沢 敦志

**問** 北八幡川未改修区間の見通しは

**農林部長** 県及び市の関係部局と早



早期着手が待たれる北八幡川の未改修区間

急に対応を検討する。

**問** 北八幡雨水調整池の容量増加は

**建設部長** 調整池の容量増加は、国の下水道浸水被害軽減総合事業を利用し、容量の算定、掘り下げ等の拡張と施工方法の検討を行い、来年度の実設計着手をめざす。

**問** 北八幡川・雨水調整池等の水位データをネットでライブ配信しては

**建設部長** 庁内関係部局と協議しながら、水位情報をインターネットで配信する研究をしていきたい。

公明党 堀内 伸悟

**問** 重層的支援体制整備事業について積極的に取り組むべきと考えるが

**市長** 関係部局を中心に調査、研究し、連携体制の充実・強化を図る。

※重層的支援体制整備事業：地域住民の複合化、複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業。

**問** 特別定額給付金基準日以降の新生児へ同様の支援が必要と考えるが

**ことも未来部長** 本市独自の支援の実施について、総合的に検討する。

共産党 竹内 茂

**問** 長野市街地の都市型水害対策に力を注ぐべきと考えるが

**市長** さらなる取り組みが必要と認識。雨水調整池などの流出抑制対策に力を注いでいく必要がある。

**問** 北八幡雨水調整池上流部に雨水調整池が必要と考えるが

**建設部長** 必要性は認識しているがまずは北八幡調整池の拡張を進める。

新友会 青木 敏明

**問** 市の浅川総合内水対策に関する今後の取り組みと方針について伺う

**建設部長** 長沼地区での雨水調整池の整備を進めている。市の事業は長野市災害復興計画に位置付けており、国・県との連携・協力により、治水安全度の向上と豊野地区の台風災害からの復興に全力で取り組む。

**問** マイ・タイムラインを市民に浸透させる取り組みについて伺う

**危機管理防災監** 地域防災力向上研修や出前講座で普及を図っていく。  
※マイ・タイムライン：住民一人ひと



にぎわいの創出に向けた検討が引き続き進められる権堂地区

りが考える災害時の行動計画のこと。「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理しておくことで、スムーズな避難行動につなげる取り組み。

**問** 防災行政無線デジタル化後の戸別受信機の有償配布と購入補助について伺う

**危機管理防災監** 戸別受信機と同等の機能をもつスマホ用防災アプリの導入成果を確認後、調査、研究する。

新友会 **箱山 正一**

**問** 権堂地区再開発の方向性は

**副市長** 各エリアにおける整備の方向性と権堂地区全体を整合させ、そ

こに市も参画し、調整を図っていく。活性化の手法や方策について、庁内でも連携し、引き続き支援していく。

**問** スーパーシティ構想への参加は

**企画政策部長** 参画の方針は決まっていない。長期戦略二〇四〇の中でまずは善光寺門前イノベーションタウン構想の実現に向け、ICTの活用を検討していく。

**問** 須坂市への大型ショッピングモール進出に対する本市の対応は

**商工観光部長** 中心市街地の商店街の魅力向上、公共的役割の強化、地域コミュニティの場としての利用等さらなる取り組みを進める。

共産党 **佐藤久美子**

**問** 市営住宅沖団地は四度の水害に遭った。盛土を行い公共施設を建てると、近隣住宅への被害が増す懸念があるため、地下貯留施設を造ることを提案する。浅川の内水対策として、県との連携ができないか

**建設部長** 公民館複合施設の整備方針が確定した時点で、所管課等に雨水流出抑制施設の整備を依頼する。議員提案を遊水地の一つとして県に

伝え、県の動向を注視していく。

無所属 **小泉 一真**

**問** 本年7月21日、北八幡川が越水し、流域で浸水被害が発生。整備水準を定め、流域全体で治水事業の合意形成を図る協議体を構築しては。流下の支障となる橋への対応は

**農林部長** 住民、市、県による協議体は合意形成に有効と思う。必要性を検討する。地藏橋のほかにも、いくつかの橋を総合的治水対策の中で調査、検証し、改修を検討していく。

公明党 **松井 英雄**

**問** 南部図書館の耐震診断のスケジ



昭和54年（1979年）に建設された南部図書館

ユールと診断結果への対応は

**教育次長** 年度内に耐震診断を終了できるように準備している。診断後の対策は、引き続き検討する。

**問** 公民館分館の地元譲渡の条件は

**教育次長** 有償か無償かなど、施設ごとに異なる条件の整理を行う。

新友会 **加藤 英夫**

**問** 緩衝帯整備予算の減少は事業の足かせ。市単独事業も含め、配慮を

**農林部長** 地元の要望に応えるよう、事業予算の確保に鋭意努める。

※緩衝帯：野生獣の隠れ家や通り道となる里山周囲の荒廃森林等で、やぶ払いや除伐等を実施し、見通しよく整備した区域。

**問** 若穂スマートインターに隣接した防災拠点となる道の駅が必要では

**危機管理防災監** 国交省、長野国道事務所と連携し、研究していきたい。

**問** モンキードッグ導入の検討は。防護柵の維持管理に里山ファン活動支援事業を活用し全面的サポートを

**農林部長** 地域に適した狼対策の調査・研究を進める。支援事業は広く

周知し、実施をサポートする。  
 ※モンキードッグ：農作物を荒らす害獣のうち、猿を追い払うことを目的に訓練された犬。

改革ネット 鎌倉 希旭

**問** 予定どおり開催される戸隠神社式年大祭等市内行事への支援策は

**商工観光部長** 御開帳の延期で誘客面での相乗効果が期待できないため、従来以上に積極的なプロモーションが必要。駅前でのPRイベントの実施や式年大祭時に宿泊を伴う旅行商品の造成を旅行会社に提案する。



令和3年（2021年）春に行われる戸隠神社式年大祭（写真は平成27年（2015年）の様子）

**問** 新しい生活様式における魅力発

信の特徴的取り組みは。民間との協働の可能性は

**企画政策部長**

デジタルプロモーション等インターネットを活用し、発信内容をいかに効果的に伝えられるかが重要で、既存コンテンツを再編集し、発信内容を統一的にコントロールする仕組みを検討している。パルシェの取り組みや民間との連携も非常に重要なので今後研究する。

※パルシェ：「パルセイロのマルシェ（市場）」の愛称。本年7月から開始した、AC長野パルセイロと長野市開発公社による取り組み。ホームタウン周辺の農家と連携し、低・無農薬野菜などの長野県産農産物を、チーム公式オンラインショップ内で販売する。

無所属 小林 史子

**問** 育児疲れで子育て短期支援事業のシフトステイを申し込んでも受け入れてもらえなかった場合、どこかにつなげる必要がある。支援が必要なケースに対して市の対応は

**こども未来部長** 費用がかかることを説明した上で夜間の預かりをしている民間施設を案内。相談員が悩みを聞き、困ったら無理せず子育て支援課に連絡するよう伝えている。

新友会 西脇かおる

**問** 市民病院などで、希望者への実費によるPCR検査の受け入れについて市の考えを伺う

**保健所長** 市として現時点では考えていないが、個々の医療機関が医療サービスのひとつとして、PCR検査を実施することはあり得る。

**問** 公契約等基本条例案で賃金下限額を定めないと決断したポイントは

**財政部長** 市として定めるには多くの課題がある。労働環境などを勘案した上で、労使間で調整することが望ましいと考える。

**問** 太陽光発電設備の設置と地域環境との調和に関する条例案で、事業者と住民間の課題は解消されるのか

**環境部長** 信頼関係を構築し、安定した事業運営がなされることとなる。

公明党 小林 秀子

**問** 人口推計による児童・生徒数は、十五年後の二〇三五年には小・中学校ともに半減する地域もある。通学区再編の議論が必要ではないか

新友会 若林 祥

**問** 危険ブロック塀対策の現状と課題、今後の取り組みは

**建設部長** 小学校周辺の一斉点検による二千三百二十六件を含め、二千九百六十八件の点検を実施し、千二百二十四件を危険と判定。うち二百五十四件、約四割を、市の補助金を活用して除却した。小学校周辺の未改善危険ブロック塀は、いまだ約五百件あり、改善が喫緊の課題。市民へ周知し、所有者に粘り強く改善



通学路等のブロック塀を点検する様子

**教育長** 少子化は中山間地域だけでなく全市的な課題であることを市民と共有し、それぞれの地域や学校の児童・生徒数の推計などを示しつつ、丁寧かつ根気よく対話を進めていく。



を呼びかける。

**問** なぜ今太陽光発電の条例化をめぐすのか。また、気候変動対策として、太陽光発電の推進と規制のあり方についての考えで取り組むのか

**環境部長** 市のガイドラインの対象外施設に関する地域住民の疑問からより地域と調和したかたちでの設備設置を推進するため。また、推進と規制のバランスをとることが温暖化対策に資すると考える。地域環境と調和した設置が進むように取り組む。

公明党 近藤 満里

**問** ITを活用した施策について積極的に推進していくセクション設置が必要と考えるが、デジタル化に向けた取り組みは

**市長** これまでも市民の利便性向上につながる有効な手段として進めてきたが、今後は、さらに積極的に取り組む必要がある。今後の業務の進展によっては、活用方法を検討する組織構築の必要性があると考える。

改革ネット 東方みゆき

**問** 浸水想定区域内人口に対する市の

の避難所の充足率はどのくらいか

**危機管理防災監** 浸水想定区域内人口十九万四千人全てが避難所に避難した場合の充足率は二五％、感染症対策を行った場合は一二％。

**問** 避難所の見直しで、篠ノ井地区は塩崎小、篠ノ井西小、通明小学校で緊急避難場所がなくなったが

**危機管理防災監** 地元の意見もあり検討している。今の段階では浸水想定区域外へ早めの避難をお願いする。

共産党 野々村博美

**問** 夏の暑さは災害級。救急搬送の



救急活動訓練の様子

実態は。エアコン設置費用と電気代の補助制度を求めたいがどうか

**消防局長** 8月31日現在で百四十二人の搬送。うち中等症が七十九人。

**保健福祉部長** 重症化しやすい虚弱高齢者や障がい者世帯を対象に、地域包括センターなどを通して利用実態を把握し、設置や電気代の支援のあり方を調査、研究していく。

新友会 松田 光平

**問** 新型コロナウイルス感染を非難せず、倒産・解雇の事態でも再チャレンジを温かく迎え入れる社会の醸成のため、指導力を発揮してもらいたい

**市長** 正確な情報発信と併せ、自ら先頭に立ち、ウイルスを軽視せず過度に恐れず、社会経済活動を再開することなどを、市民や関係団体等に呼びかけや働きかけをし、市民がお互いに認め合い、支え合いながらウイルスを克服する機運を醸成したい。

**問** 人・農地プランは、農業者とのマッチングを積極的に行うことの広報が足りないのでは。実質化に向け、手厚い予算措置を望む

**農林部長** プランの実質化は、農業

者の年齢階層や後継の有無情報を地図に表し、中心経営体への農地集積を地域の話し合いで決定する。担い手の経営規模拡大と耕作放棄地の発生抑制に寄与するため、関係団体と連携して推進する。実現に向けた助言や広報が重要。引き続き国の補助金を確保し、予算確保に努める。



地域の話し合いの様子

市議会本会議は、市ホームページの「長野市議会」の議会中継でご覧いただけます。常任委員会は、録画でご覧いただけます。

また、本会議及び各委員会の詳細については、ホームページの会議録検索でご覧いただけます。

(注) 9月定例会の本会議及び各委員会の会議録検索へのアップは、11月下旬以降順次行う予定です。

審議結果については、4頁の審議結果一覧を併せて参照ください。

# 常任委員会のうごき

## 建設企業委員会

●現在、美濃和田団地敷地内に災害公営住宅六十三戸の整備が進められており、入居の仮申し込みは百十世帯から寄せられ、中には自宅に戻るか災害公営住宅に入居するか迷われている方々もいる。市は、個々の事情に寄り添い丁寧な相談対応をするとともに、不足が見込まれる住宅については、地域住民の意見を聞きながら、建設場所も含め、新たな住宅建設を早急に検討するよう要望した。

●中心市街地ではハード・ソフト合わせ三十九の活性化に資する事業が進められているが、各事業の効果を点から面につなげ、相乗効果が生まれるよう要望した。また、市街地総合再生基本計画の策定にあたっては、地域住民の意見を尊重するとともに、関係する民間事業者等との連携を一層密にしなが、市がリーダーシップをとって取り組むよう要望した。

●7月の集中豪雨では、市街地を流れる北八幡川が氾濫し、住宅地に浸水被害をもたらした。近年は異常気象により集中豪雨が頻発していることから、雨水排水路の整備については、市内全域で計画的に実施するよう要望した。

## 総務委員会

●人口減少対策の事業について、七瀬移住促進住宅は、東京圏を中心に地方回帰の機運が高まっている中、利用の拡大のため入居要件の一部を緩和する条例改正を行った。また、状況報告があつた二つの事業のうち、学生応援パックは、県をまたぐ移動に対して慎重にならなければいけない中で、学生の「ふるさとながの」の意識醸成のため、新米などの特産品を給付し、もう一つの企業移転・移住支援金は、リモートワークなど働き方が変化している中で、企業移転等の促進を図り、支援金を支給するとのこと。

いづれの事業も、コロナ禍で社会が変化している今こそ成果が見込めるため、効果的な情報発信に努めるよう要望した。

●消防団の被服や消防局の資機材の購入にあたり、条件付き一般競争入札を行ったが結果として応札者が少なかった事例が見受けられる。引き続き、公平性・競争性の確保や市内の事業者の受注機会に配慮しつつ、応札者数を確保するなど、入札制度がよりよいものとなるよう、さらなる取り組みを研究するよう要望した。

## 福祉環境委員会

●季節性インフルエンザの流行期における新型コロナウイルス感染症対策について、市民に対してインフルエンザワクチンの接種時期や発熱時の相談・受診方法について十分な周知を行うとともに、発熱患者が適切な相談・検査をより多くの医療機関で受けることができる体制の整備について、県や医師会等とも連携し、進めるよう要望した。

●放課後子ども総合プラン施設について、年や地域で児童数の変動が大きい中で、直ちに施設の新規・拡張を図ることは困難な面もあることから、面積基準を満たしていない施設においては、空き教室などを含め、既存施設の有効活用について調査、研究するよう要望した。

●公費解体について、被災住民が一日でも早く落ち着いた生活を取り戻し、安心して暮らせるように、今後も被災住民に寄り添いながら、申請を受理した公費解体分については、速やかに実施するよう要望した。

●請願第七号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

●請願第八号については、全員賛成で採択すべきものと決定した。

## 経済文教委員会

●WEBフェス事業に関連して、感染症収束の兆しが見えない中、文化芸術活動の継続のための支援が必要となることから、アーティストやイベント事業者等に対する支援策を引き続き検討するよう要望した。

●現在実施している推し店プラチナチケット事業の問い合わせや意見を参考に、課題を検証し、ながのビッグプレミアム商品券事業に生かすよう要望した。商品券が多くの市民に行き渡るよう、十分な周知に努めることについても併せて要望した。

●熊被害発生後の対応について理事者から説明があつた。熊の個体数を把握した上で、対策を検討するよう要望した。また、熊が出没した場合には、的確かつ迅速に注意喚起ができるよう、これまで以上に関係機関と連携を図ることを要望した。

●請願第九号、請願第十号及び請願第十四号については、請願者の願意を酌んで、全員賛成で採択すべきものと決定した。

●請願第十一号、請願第十二号、請願第十三号及び請願第十五号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

# 特別委員会のうごき

## 農林業振興対策 特別委員会

7月に、木質バイオマス発電を行っている、いびづなお山の発電所及びパレット材製材加工施設を視察した。8月には、長野市農業委員会役員と農地等利用最適化の推進施策をテーマに意見交換会を開催した。

9月定例会では、一年間の調査・研究で出た意見を集約して要望した。

●令和元年東日本台風災害で被災した用水施設などは仮復旧のところもあるため、本復旧工事が早期に完了するよう取り組むこと。

●農地流動化対策のため、本年度末までに全ての地区で人・農地プランの実質化を完了し、農地の有効利用が図られるよう取り組むこと。

●CSF（豚熱）の影響で市ジビエ加工センターへのイノシシの受け入れを休止しているが、早期の受け入れ再開をめざすとともに、新たなジビエ商品の開発や販売経路の拡大による中山間地域の活性化を図ること。

●未利用間伐材のバイオマス発電などへの利用は森林資源の有効活用につながっているが、持続的な森林・林業経営が行われ、森林のもつ公益的機能が高度に発揮できるよう森林整備に取り組むこと。

## 公共施設の在り方 調査研究特別委員会

7月には、施設ごとの対応方針を定める建築物の個別施設計画（素案）に対して、市民から市に寄せられた質問・意見等について調査した。

9月定例会では、個別施設計画の策定スケジュール等の変更点を調査し、一年間の調査・研究で出た意見を次の三点に集約し、委員長報告として要望した。

●東日本台風災害や新型コロナウイルス感染症など「環境の変化に対応した取組」が必要であり、個別施設計画の策定後においても、その変化に応じて公共施設のあり方を見直し、市民の安心安全を実現すること。

●今後、個別施設計画に基づき、具体的な施設の廃止や縮小などの検討が進むが、マネジメントの必要性や個々の施設のあり方を分かりやすく説明し、地域からの意見を吸い上げ「市民合意形成のさらなる推進」を図りながら計画を進めること。

●持続可能な公共サービスを提供するため、施設総量二〇％縮減の目標に向け「計画を実行するための推進体制の強化」を図り、市長を中心とした全庁的な取り組みにより、公共施設マネジメントを推進すること。

## 小・中学校の在り方 調査研究特別委員会

本委員会が継続的に調査を実施してきた「少子化に対応した子どもにとつて望ましい教育環境の在り方について」審議のまとめについて、これまでに出された意見を9月定例会において次のように要望した。

●教育委員会は保護者に対し、審議のまとめについて、分かりやすく丁寧な説明を粘り強く行うとともに、理解に必要な情報をより積極的に提供すること。また、地域に寄り添った具体的かつ実現可能な方向性を能動的に示すなどにより、保護者との対話を進めていくこと。

●市当局は、児童・生徒数の減少に伴う学校規模の急激な変化について、長期的なビジョンをもって市民全体と共有し、課題解決に向けて早期に取り組んでいくこと。また、子どもにとつて望ましい教育環境の実現について、子どもたちが速やかにかつ円滑に新たな教育環境に移行できるように、特段の配慮をすること。

●議会においては、子どもにとつて望ましい教育環境の一日でも早い実現に向け、市民の代表として地域の皆さんとともに、より一層取り組んでいく必要があることを報告した。

## まちづくり・公共交通 対策調査研究特別委員会

9月定例会では、一年間の調査・研究で出た意見を集約して要望した。

●中心市街地活性化プランの進捗管理においては、数値の測定方法や測定時期等について検討すること。

●権堂地区再生計画の策定においては、住民から意見が届くのを待つのではなく、市が積極的に住民の意見の把握に努め、市が主体となって中心市街地の活性化を推進していくこと。

●市街地総合再生基本計画の策定においては、信州地域デザインセンターとの連携を強化しながら、まちづくりに生かしていくこと。

●乗合タクシーについては、フルデマンド化した「かつら号」の令和元年実績から、費用対効果が上がっていることを確認しているため、他の地区のフルデマンド移行についても、実施を前提に検討を続けていくこと。

●中山間地だけでなく市街地等においても、バスや徒歩で移動している人が多くいるため、全市的に公共交通の現状確認、改善を継続すること。また、路線の重複については、民間事業者間の連携も図りながら市民の足を守り、確保し続けること。

◆ 経済文教委員会

商工観光部、文化スポーツ振興部、農林部、教育委員会、農業委員会に関すること。



前列 布目裕喜雄 ○鈴木 洋一 ◎手塚 秀樹 宮崎 治夫 グレート無茶 後列 阿部 孝二 近藤 満里 和田 一成 西沢 利一 小林 史子

◆ 総務委員会

総務部、企画政策部、財政部、地域・市民生活部、会計局、消防局、議会事務局、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員に関すること。他の常任委員会の所管に属しないこと。



前列 塩入 学 ○金沢 敦志 ◎勝山 秀夫 小林 義直 西脇かおる 後列 青木 敏明 滝沢 真一 堀内 伸悟 黒沢 清一 寺沢さゆり

◆ 建設企業委員会

建設部、都市整備部、上下水道局に関すること。



前列 松本 茂盛 ○竹内 茂 ◎北澤 哲也 加藤 英夫 後列 佐藤久美子 小泉 栄正 小林 秀子 小泉 一真 三井 経光

◆ 福祉環境委員会

保健福祉部、こども未来部、環境部に関すること。



前列 松井 英雄 ○松田 光平 ◎若林 祥 東方みゆき 箱山 正一 後列 鎌倉 希旭 市川 和彦 桜井 篤 野々村博美 倉野 立人

市議会には常任委員会と特別委員会が置かれています。9月定例会では副議長と各委員会の委員が新たに選任され、議会の構成も変わりました。正副議長と常任委員会の委員を、各委員会の所管事項とともに紹介します。

新しい議会構成②

議長 小泉 栄正 副議長 西沢 利一

訂正

前号(第111号)の記事中に誤りがありましたので、以下のとおり訂正します。  
 【4頁・2段目の18行目】 誤 猶予額五百三億円 → 正 猶予額約三億円

編集委員

委員長 北澤 哲也  
 副委員長 加藤 英夫 西脇かおる  
 野々村博美 小林 史子 鎌倉 希旭 勝山 秀夫

今号では、9月定例会で議論された主な内容をご報告しました。日に日に朝晩の空気が冷たく感じられる季節となりました。これからの季節は例年ですとインフルエンザが流行してきます。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、より注意を払わなければなりません。皆さんお一人お一人が手洗い、うがいなど、予防対策への意識を高め、生活していきましょう。

編集後記

11月26日(木) 本会議(会期の決定) 議案上程  
 27日(金) 12月1日(火) 休会  
 28日(土) 本会議(一般質問(代表))  
 29日(日) 本会議(一般質問(個人))  
 30日(月) 本会議(一般質問(個人))  
 1日(火) 休会  
 2日(水) 本会議(一般質問(個人))  
 3日(木) 本会議(一般質問(個人))  
 4日(金) 本会議(一般質問(個人))  
 5日(土) 休会  
 6日(日) 本会議(一般質問(個人))  
 7日(月) 本会議(一般質問(個人))  
 8日(火) 議案質疑等  
 9日(水) 委員会(福祉環境 建設企業)  
 10日(木) 委員会(総務・経済文教)  
 11日(金) 委員会(総務・経済文教)  
 12日(土) 休会  
 13日(日) 休会  
 14日(月) 本会議(採決)  
 ●日程案は変更となる場合があります。  
 ●「請願」「陳情」を希望する人は開会日までに提出してください。  
 ●傍聴は開催当日、次のところで受け付けます。  
 ●本会議：第一庁舎8階(傍聴席入口)  
 ●委員会：第一庁舎7階(議会事務局)  
 ●乳幼児一時預かりサービスは、利用を希望する対象保育所等へ直接お申し込みください。手話通訳及び要約筆記サービスは、傍聴希望日の3日前までに議会事務局へお申し込みください。(いずれも無料)

12月市議会定例会 会議予定



長野市議会  
 長野市議会ホームページ  
<http://www.city.nagano.nagano.jp/site/gikai/>  
 E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp

検索